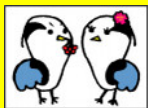


～学びと育ちの連続性～

## 浦幌小中一貫CS便り

平成 28 年 9 月 16 日 (NO.81)



浦幌町教育委員会

浦幌町教育研究所

## 校長研究大会で実践発表

中央小・野上泰宏校長

■ 8月3日に行われた十勝小・中学校長会教育研究大会において、上浦幌中央小学校の野上泰宏校長がCSの実践発表をしました。

(研究主題)「浦幌町小中一貫コミュニティ・スクールにおける学校評価システムの構築」

(研究の視点) ①小中一貫CSの取組を通じた学校改善

②スクールアナリストによる学校評価改善を通じた信頼される学校づくり

(成果と課題) 持続的な学校評価の推進方法(組織の在り方、数値による可視化)の構築

組織力や実践力の向上に繋げる当事者意識の醸成

■他に実践例が少ない中、小中一貫CSに関する意欲的な取組が発表され、今後の教育の進むべき道筋を示したものとして高い評価をいただきました。浦幌町では今回の実践発表をひとつの成果として、引き続き着実な実践を積み重ねていきます。

## 児童会・生徒会役員の「熟議」

文部科学省の指定事業「チーム学校の実現に向けた業務改善等」を推進するため、スクールアナリスト木幡敬史慶応義塾大学SFC研究所上席所員にご指導いただきながら、学校評価システムの構築に取り組んでいます。

その一貫として、アクションプランの「ゲーム機やケータイ・スマホ等の利用のルールを決める」ために、アンケート等による実態把握をもとに改善のための「熟議」を重ねてきました。

先日、浦幌学園では児童会や生徒会の役員が集まり、白井教頭のコーディネートによりルールづくりの「熟議」を行いました。活発な中学生の先輩たちと一緒に、小学生もしっかり自分の考えを発表していました。

ゲーム機やケータイ・スマホ等の利用のルールとして、使う時間(帯)や使う場所などの視点から活発な意見が出され、児童会・生徒会の役員としての役割を果たしていました。

